（1）（月刊除月曜）　昭和21年6月1日第三種郵便物認可　昭和24年2月23日運輸省特別扱承認第238号　いわき民報　昭和26年5月25日（金曜日）　第1536号

夕刊
いわき民報
発行所
平市田町 電176 381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

5枚続きで…
大当り 3百万圓
宝くじ
前後前々後後賞付
第5回くじ
5月10日より売出し中
抽せん5月31日
於 宇都宮東宝劇場
日本勧業銀行平支店

伊藤次席の行状に公開状

入替問題 中村町にも批判の聲

伊藤次席

平市署伊藤次席と中村町渡辺署長の入換え問題は果然各方面から注視と批判のまとなり成行きを注目されているが、中村町においては伊藤次席最近の行状から某新聞が左の如き公開状を公安委員会に提出しこれを難詰した、これに対し公安委員の遠藤本令氏から左の如き回答があつた

公開状

中村町公安委員遠藤本令、犬飛盛綱両氏に問う、曇言問題によりその進退を注視されつつある中村町署長渡辺氏の処理は次の如く内容されたと聞く

同氏は平市署次席に転じ、これに引かえに同署次席伊藤氏を転入させると、われくは伊藤氏を熟知せざるも風聞する処によると醜聞あり、即ち彼は妻子を忘れて部下の婦警某と情を通じほしいまゝなる肉よくにおぼれて、もつて家庭を荒廃せしめ、ために婦警某は辞職せられ、しかも同人のみは悠々としてその職にとゞまつてんとして感ずる色なしと、また聞く今次の平市長選挙に当つては立候補者二名のうち一方のみに意を通じ他方を極力弾圧したりと以上両項の背徳により心ある市民の指弾はもちろん、署内の同僚、部下の間においてすらひんしゅくされつゝあると、公安委員両公よ

右の風聞は果して事実なりや、事実とせんか貴公達の真意は奈辺にあるか、徒らに私情におぼれ公器を私物化するものと断ぜざるを得ず、両警視の過失を糊塗せんとして却て二万町民の生命財産を危地に陥れるやもはかり難い、こゝに公開状を呈し責任ある回答を求める次第である

回答

一、婦警の問題について昨年春、一婦警の家庭の事情を見かね精神的に援助を与えたためあらぬうわさが立つたもので、平市公安委員会が調査結果、事実無根を証明された

二、選挙については当人が自発的に諸橋派を弾圧したのではない、地検高橋検事の指揮をうけ行動したのであつて、市民は一時騒いだがその後市民も諸橋氏も諒解している

三、従つて当町署長渡辺氏との交換に際し問題がある伊藤氏をもつてくるのではない、もつと大きな見地から事を運んでいるのである町民は安心して公安委員の行動を信じていただき度い

助役選任で急施市會

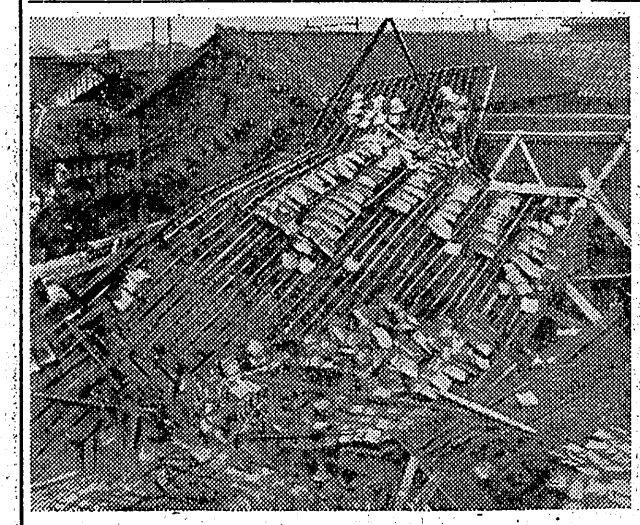
廿八日開く

諸橋市長は助役の選任問題で種々適任者を物色中であつたが商工会議所せん務伊藤勇吉氏に内定した模様で二十八日午前十時から急施臨時市会を招集、同意を求めることになつた

大音響と共に屋根墜落

遊んでいた子供が重傷

二十三日午後六時四十五分ごろ平市弥宜町地内（鯰心湯裏）に建築中の倉庫＝鹿島村畜産志賀直哉氏＝（大谷石作り延坪百二十）坪の高さ約六米の屋根六十坪（現在ふかれてある部分）が一大音響とともに落下、倉庫の入口附近で友達五名と遊んでいた同地内の自動車運転手後藤俊一（七）ちゃん二女恭子（七）ちゃん＝第三小学校四年生＝が逃げ遅れてその下敷となり直ちに鎌田町金成医院に担ぎ込まれ手当を加えたが右大たい骨骨折部骨折で全治四十日間の重傷を負つたこの倉庫は三月二十八日建築許可になり米倉とする目的で建築中瓦が屋根上に上げられたが雨でゆるみそれに瓦の重みが加つたためこの惨事を惹起したものとみられる



惨事の現場附近の赤塚さんの家人は最初はオートバイのエンジンの音かと思つていたら突然大音響が聞えてその震動は地鳴と同じようでした、あの時の音は丁度空襲時の爆弾のような感じでした

（写真は家根墜落の惨状）

共犯二名逮捕

小名濱の殺人事件

昨報＝去る二十一日に小名浜町に発生した兄弟分刺殺事件について同町署ではその後共犯関係について捜査を進めていたが二十三日になつて同町下町四五前科三犯興行師馬上東二（三）同町定西無職佐久間昭次（二〇）の両名を共犯の容疑で逮捕した

純益は十二万圓

第四回競輪の精算

五月の第四回平市営競輪の純益金は二十四日午前十時から開かれた競輪運営常任委員会で十二万三千六百五十三円と報告された

事券の総売上高千七百六十六万六千四百円、内容は

▽牧人の部 施行者收得金四百四十一万六千六百円、入場者料十五万七千五百六十円雑收入二万三千六百八十円、合計四百五十九万七千八百四十円

▽支出の部 国庫納付金十六万五千八円、振興会交付金五十二万九千九百九十二円、開催費三百三十九万二千五百八十四円、雑費三十六万五千百十三円、事故補足金二万二千四百八十円、合計四百四十七万四千百七十七円、差引残高十二万三千六百六十三円、今度の收益金が売上高からみて案外少なかつたのは優秀選手をむかえた為その分の経費が前回より五十二万円以上も多く出ていることに原因している

アグリ船員の待遇決る

県旋網漁業協同組合ではこの程〝アグリ〟船乗組員の給料及び食費などを次の通り決めた

△乗組員の給料 月抜け（稼動月を指す）の三千円とし総水揚げ金額から二割を控除し七割（船主側）と三割（乗組員側）の割合とする

△酒手 水揚げ金額三十万円以上一百円、五十万円以上二百円、百万円以上三百円とする

△食費及び旅費 移動証明のない者は食費として一日五十円を徴收する、なお乗船のための片道旅費は船主が実費支給する

視聴覺委會解消に決る

視聴覺運営委員会は廿三日地方事務所に開き坂本委員長が座長となり既報の如く解消に決定、委員で財産処理委員会を設置した

刀と火薬隠匿

平市署では二十三日午後五時ごろ平市柳町二七クズ拾い鈴木已之太郎（〇）方の家宅捜索をした所刃渡一尺二寸の日本刀一振と旧軍用榴弾火薬約百瓦を隠匿しているのを発見、押收するとともに鈴木を銃砲刀剣類所持取締令並に火薬類取締法違反で逮捕した、日本刀の出所は明らかでないが火薬は高久村の竜土産業附近から拾つた砲弾から抜き取つたものといつている

車輪盗む

湯本町傾城二日雇佐野清（二）は二十一日午後九時半ごろ同町山の神地内県営矢薬対策事業部道路工事現場から車輪一組（二十四貫）時価六千円相当を盗み湯本町署に捕まり二十三日身柄を送検

書記が縊死

二十四日午前八時半ごろ永戸村合戸下永井農協組書記牧野一義（七）さんは同組合宿直室で縊死した、病苦らしい

學校だより

◇平二中学級PTA会は二年生二十八日、三年生三十日、一年生六月二日それぞれ午後一時から開き教育一般に就き懇談する

◇平二中PTA評議員会は三十一日午後一時半から同校に開き図書理科用具その他学校設備状況に就き協議する

天気予報

二十四日
【今晩】南よりの風時次第に海岸くなつて一時小雨パラツク、海上は今晩濃な方明日南西の風一時やや強く波立つ小型船は注意

祝 湯本町公民館落成

常磐炭礦
常磐城礦業所
満田林長所

3（本湯）2…0 4 8（平）話電 口ノ辰町本湯

湯本町公民館新築工事請負
堀江工業株式會社
常務長谷川常吉
平市才槌小路
電五一九・五三五

湯本町消防團
團長小井戸圧松
外團員一同

湯本温泉旅館組合
皆様のデパート
三久
湯本町本町
電話一三一・三〇三番

常磐交通自動車株式會社
本社平市田町駅前
電話三四三・一〇七六番
湯本出張所湯本町駅前
電話一三八番

品川白煉瓦株式會社
湯本工場
工場長服部梅雄
湯本町天王崎
電話二・一七番

祝湯本町公民館落成 落成式5月25日

祝賀行事

▼二十五日
▽第一部（午前九時より）
◇式典
▽第三部（午後二時より）
◇ブラスバンド（常磐炭鉱）
◇舞踊と歌（幼稚園）
◇そう曲（杉美会）
◇歌謡曲（常磐炭鉱）
◇舞踊（竹松）
▽第三部（午後六時より）
◇演劇（常磐炭鉱）

▼二十六日
▽第一部（午前九時より）
◇謡曲（合同）
◇遊戯劇 舞踊（町内小中学校まとめて子供会）
▽第二部（午後一時より）
◇謡曲（合同）
◇ダンス（合唱）（湯本高校）
◇舞踊（湯本常磐婦人会）
▽第三部（午後六時より）
◇謡曲（合同）
◇詩朗読（青カラスの会）
◇舞踊（竹松）
◇演劇（青カラスの会）

▼二十七日
▽第二部（午後一時より）
◇舞踊（湯本芸妓組合総出演）
▽第三部（午後六時より）
◇楽人のど自慢コンクール

湯本町役場
町長松本久吉
助役内山吉五郎
牧入役仲里勝利
公民館主事長谷川栄

湯本町議會
議長飯島隆俊
副議長小野英二郎
外議員一同

湯本町公安委員會
委員長服部梅雄
木村進一
木山茂彦

湯本町警察署
署長菅家徳寿
外署員一同

日刊（除月曜）　定価1カ月金80円（週1回四頁建）一部（二頁）3円（四頁）4円　（第三種郵便物認可）　いわき民報　昭和26年5月25日（金曜日）　第1536号

騎馬隊に奴行列も合流

植田で藝妓手踊や剣道大會

賀祝園公立縣

なこそ、錦、植田三町共催の縣立公園指定祝賀式典は來る二十六、七の兩日なこそ町で盛大に催される、其行事は既報の通り実に盛難なものであるが、植田町では商工會が主催となつて数々の催しを繰り展げることになり、先ず駅前とさめ川橋たもとに緑のアーチを建設し各店とも装飾に腐心を払つている、更に二十六日なこそより行進する相馬騎馬隊に合流し郷土特有の雪ながらの山田村姿行列が異彩を放つ事になつており、又公民館が主体となつて磐南剣友クラブの町村対抗剣道試合は二十六日植田小学校講堂で火花が散らされる、夜は農業協同組合前の仮設舞台で芸者連の手踊が展開される、斯うした未曾有的祭典の情景を観んものと近郷近在から多数雪崩れ込み町内は人の波を描き空前のにぎわいを呈する事であろう

鑛山勞組會長に 田畑縣議

日本鉱山労働組合の全国会長に県議出馬、金光氏が選任された旨なこそ日鉱常連支部に通知あつた

所有米なし

強制執行は不可能

昨報＝大浦村の未供米憲貧者二名に対する初の強制執行は二十三日朝十時石城地方事務所、食糧事務所両所により大浦村大字六森農業丹野清康（四）同字鈴木久一（五四）方を調査のところ丹野方は供米割当二石九斗八升五合に対し一石三斗二升の供米残り一石六斗六升五合を未收、鈴木方は供米割当七斗六升に対して全未收のもので家宅捜査の結果、丹野方には米七合、麥五升、大豆四升、鈴木方には米五合、つぶし麥一升の在庫だけで強制執行出来ず後日農業調整委員で審議することになつた

商工協組總會

植田地区商工協同組合では二十三日午前十時より旧郵便局跡（馬上兵宅）に於て定時総会を開催し二十五年度の事業経過報告及び二十六年度の事業計画其の他に就き協議した

近く一時斷水

送水管修理で

平市土末鍬では昨年八月の水害によつて陥没の危険にさらされた好間村上ノ原地内の送水管約百三十米を安全地帯に移転する切替え作業を続けていたが近く最後的な作業（管のつなぎ合せ）をするので市内は一時断水する様になると語つている

バレー大會

廿七日開く

石城バレー協会並高体連共催の全日本高校バレー選手権大会石城地区予選大会は来る二十七日午前九時から平商校グランドで挙行される、参加予想校は十校で組合せは当日行う、なお傍聴チーム二組は二十日の昼なこそ町関田齋藤光雄七古賀商卓坂武雄さん方に売り込みに来た処を平市署員に捕まつたなお君和田は去る十九日水戸児童相談所から茨城農芸学校に送られたが学校から逃そうして来たものらしく余罪ある見込み

線路で遊び 無慘の轢死

植田町字金畑二七茶商大谷森次郎さんの孫政男さん（三ツ）と同トシ子さん（四ツ）の二人は二十三日午後三時ごろ附近の踏み切り線路（植田町より山田村へ通ずる踏み切り）で遊んでいた折上り列車が通過し逃げ場を失つた政男さんは無慘にも轢死トシ子さんは別条なかつた

團體で田人村優勝

植田でクレー射撃

県猟友会植田支部では二十三日午前十時より植田町佐ぬか海岸で残し金二万円を騙取し同地の鉱泉沢火薬処分のグレー射撃競技大会を開催した、腕に自慢の参加者は四十余名に達しほどころの腕前を遺憾なく発揮し覇を競つた結果左の如く入賞した

A級　個人賞　一等関想忍（なこそ）二等富士田たか（植田）三等村上信雄（泉）

B級　一等紫藤貢蔵（上遠野）二等紫藤義一（上遠野）三等芳賀義信（田人）

C級　一等鯉田亮（上遠野）二等根本昭栄（上遠野）三等田辺御平（泉）団体賞一等田人二等上遠野A番外　一等大木友美

洋裁工などに資格試験

六月中旬に、白河市で開かれる県大会に出場する

平労基署では二十六年度初の洋裁洋服裁縫工の指導員、資格免許の試験を近く福島市で実施するというが

この試験は従来、弟子を養成するに当つて徒弟制度の弊害が生じ夜間遅くまで使用し労基法にも違反する行為がみられるので技能習得者を養成する場合にはこの試験で免許を得ねばならぬもの、なおこの免許が得られぬ場合は使用する徒弟は一般年少労働者として労基法に基いて使用せねばならない、この資格免許テストは裁断、裁縫、材料、技能習得者の指導方法、技術者養成に関する法令、実技等

詐欺

植田町後宿矢渡書吉氏長男的（三七）＝窃盗前科二犯＝は去る二月二十八日ころ平市弥宜町三四渡辺トシ子さん方に侵入、物色中家人に発見され住居侵入と窃盗未遂で懲役八月、

【その三】岩手県生れ住居不定無職鈴木朗治（三）は去る三月七日ころなこそ町字関山赤津正さん方からネズミ色オーバーなど衣類十六点（三万四千円相当）を盗んだほか三件の窃盗で懲役一年、執行猶予三年

【その二】福島市生れ住居不定無職佐藤清一郎（三）は去る二月二十八日ころ平市弥宜町三四渡辺トシ子さん方に侵入、物色中家人に発見され住居侵入と窃盗未遂で懲役八月、

【その三】岩手県生れ住居不定無職鈴木朗治（三）は去る三月七日ころなこそ町字関山赤津正さん方からネズミ色オーバーなど衣類十六点（三万四千円相当）を盗んだほか三件の窃盗で懲役一年六月

判決三件

平簡裁で二十二日に次の三件の判決言渡しがあつた

【その一】赤井村大字上小川字上谷地一農業佐藤康秀（三）は昨年十月六日ころ平市六丁町地内で持主不明の中古自転車一台を盗んだほか三件の窃盗で懲役一年、執行猶予三年

盜品を賣込み平で逮捕

茨城の兩小年

茨城県鹿島郡鉾田町無職君和田某（七）同県行方郡堤原村富田某（七）の両名は共謀の上三十三日午前零時ごろ同県鹿島郡鹿島町駅前丸藤洋品店から洋服生地六十五ヤールスボン数点（十万円相当）を盗んで同日午前十一時ごろ平市南町一七古賀商卓坂武雄さん方に売り込みに来た処を平市署員に捕まつたなお君和田は去る十九日水戸児童相談所から茨城農芸学校に送られたが学校から逃そうして来たものらしく余罪ある見込み

中學生と共謀 強姦未遂

植田町大字植田字月山一無職クシダ博（三）は去る三月下旬ごろ同町字横町文化劇場内で見物中の同町大町三二〇飲食店女中大田某女（二）を楽屋につれこみ子分の中学生三年生某（三）外四名に手伝わせて強姦しようとしたが騒がれ未遂に終つたことがわかり廿日植田町署に捕まつた、なお余罪として四月初旬ごろ植田町字町後三九興行師きね淵與ざさん方倉庫から子分の中学生と共謀して電線十貫、水道鉛管二十個、ベアリングメタル一個など（一万五千円相当）を盗み同町本町古物商齋藤太一方へ三千円で買却した外、去る四月七日夜七時ごろ同町町後カフエー吉野屋接待婦佐藤富子（二）に全治二週間の傷を負わせた事がわかつた

郷土漫筆

高木誠一

土佐燒

石城郡草野村北神谷に矢福寺という禪刹がある寺伝によれば弘安年中鎌倉建長寺大覚せん師の開基であるという、寺は明治年間再度の火災によりじゆう宝日記はことごとく烏有に帰したが翁襖の土佐とめいのある達磨像が残つているいう元浪花の人岩城に来り瓦を焼の示教を乞う次第である

近く一時斷水

送水管修理で

平市土末鍬では昨年八月の水害によつて陥没の危険にさらされた好間村上ノ原地内の送水管約百三十米を安全地帯に移転する切替え作業を続けていたが近く最後的な作業（管のつなぎ合せ）をするので市内は一時断水する様になると語つている

商工協組總會

植田地区商工協同組合では二十三日午前十時より旧郵便局跡（馬上兵宅）に於て定時総会を開催し二十五年度の事業経過報告及び二十六年度の事業計画其の他に就き協議した

所有米なし

強制執行は不可能

昨報＝大浦村の未供米憲貧者二名に対する初の強制執行は二十三日朝十時石城地方事務所、食糧事務所両所により大浦村大字六森農業丹野清康（四）同字鈴木久一（五四）方を調査のところ丹野方は供米割当二石九斗八升五合に対し一石三斗二升の供米残り一石六斗六升五合を未收、鈴木方は供米割当七斗六升に対して全未收のもので家宅捜査の結果、丹野方には米七合、麥五升、大豆四升、鈴木方には米五合、つぶし麥一升の在庫だけで強制執行出来ず後日農業調整委員で審議することになつた

騎馬隊に奴行列も合流

植田で藝妓手踊や剣道大會

賀祝園公立縣

なこそ、錦、植田三町共催の縣立公園指定祝賀式典は來る二十六、七の兩日なこそ町で盛大に催される、其行事は既報の通り実に盛難なものであるが、植田町では商工會が主催となつて数々の催しを繰り展げることになり、先ず駅前とさめ川橋たもとに緑のアーチを建設し各店とも装飾に腐心を払つている、更に二十六日なこそより行進する相馬騎馬隊に合流し郷土特有の雪ながらの山田村姿行列が異彩を放つ事になつており、又公民館が主体となつて磐南剣友クラブの町村対抗剣道試合は二十六日植田小学校講堂で火花が散らされる、夜は農業協同組合前の仮設舞台で芸者連の手踊が展開される、斯うした未曾有的祭典の情景を観んものと近郷近在から多数雪崩れ込み町内は人の波を描き空前のにぎわいを呈する事であろう

鑛山勞組會長に 田畑縣議

日本鉱山労働組合の全国会長に県議出馬、金光氏が選任された旨なこそ日鉱常連支部に通知あつた

洋裁工などに資格試験

六月中旬に、白河市で開かれる県大会に出場する

平労基署では二十六年度初の洋裁洋服裁縫工の指導員、資格免許の試験を近く福島市で実施するというが

この試験は従来、弟子を養成するに当つて徒弟制度の弊害が生じ夜間遅くまで使用し労基法にも違反する行為がみられるので技能習得者を養成する場合にはこの試験で免許を得ねばならぬもの、なおこの免許が得られぬ場合は使用する徒弟は一般年少労働者として労基法に基いて使用せねばならない、この資格免許テストは裁断、裁縫、材料、技能習得者の指導方法、技術者養成に関する法令、実技等

團體で田人村優勝

植田でクレー射撃

県猟友会植田支部では二十三日午前十時より植田町佐ぬか海岸で残し金二万円を騙取し同地の鉱泉沢火薬処分のグレー射撃競技大会を開催した、腕に自慢の参加者は四十余名に達しほどころの腕前を遺憾なく発揮し覇を競つた結果左の如く入賞した

A級　個人賞　一等関想忍（なこそ）二等富士田たか（植田）三等村上信雄（泉）

B級　一等紫藤貢蔵（上遠野）二等紫藤義一（上遠野）三等芳賀義信（田人）

C級　一等鯉田亮（上遠野）二等根本昭栄（上遠野）三等田辺御平（泉）団体賞一等田人二等上遠野A番外　一等大木友美

詐欺

植田町後宿矢渡書吉氏長男的（三七）＝窃盗前科二犯＝は去る二月二十八日ころ平市弥宜町三四渡辺トシ子さん方に侵入、物色中家人に発見され住居侵入と窃盗未遂で懲役八月、

【その三】岩手県生れ住居不定無職鈴木朗治（三）は去る三月七日ころなこそ町字関山赤津正さん方からネズミ色オーバーなど衣類十六点（三万四千円相当）を盗んだほか三件の窃盗で懲役一年、執行猶予三年

【その二】福島市生れ住居不定無職佐藤清一郎（三）は去る二月二十八日ころ平市弥宜町三四渡辺トシ子さん方に侵入、物色中家人に発見され住居侵入と窃盗未遂で懲役八月、

【その三】岩手県生れ住居不定無職鈴木朗治（三）は去る三月七日ころなこそ町字関山赤津正さん方からネズミ色オーバーなど衣類十六点（三万四千円相当）を盗んだほか三件の窃盗で懲役一年六月

盜品を賣込み平で逮捕

茨城の兩小年

茨城県鹿島郡鉾田町無職君和田某（七）同県行方郡堤原村富田某（七）の両名は共謀の上三十三日午前零時ごろ同県鹿島郡鹿島町駅前丸藤洋品店から洋服生地六十五ヤールスボン数点（十万円相当）を盗んで同日午前十一時ごろ平市南町一七古賀商卓坂武雄さん方に売り込みに来た処を平市署員に捕まつたなお君和田は去る十九日水戸児童相談所から茨城農芸学校に送られたが学校から逃そうして来たものらしく余罪ある見込み

中學生と共謀 強姦未遂

植田町大字植田字月山一無職クシダ博（三）は去る三月下旬ごろ同町字横町文化劇場内で見物中の同町大町三二〇飲食店女中大田某女（二）を楽屋につれこみ子分の中学生三年生某（三）外四名に手伝わせて強姦しようとしたが騒がれ未遂に終つたことがわかり廿日植田町署に捕まつた、なお余罪として四月初旬ごろ植田町字町後三九興行師きね淵與ざさん方倉庫から子分の中学生と共謀して電線十貫、水道鉛管二十個、ベアリングメタル一個など（一万五千円相当）を盗み同町本町古物商齋藤太一方へ三千円で買却した外、去る四月七日夜七時ごろ同町町後カフエー吉野屋接待婦佐藤富子（二）に全治二週間の傷を負わせた事がわかつた

郷土漫筆

高木誠一

土佐燒

石城郡草野村北神谷に矢福寺という禪刹がある寺伝によれば弘安年中鎌倉建長寺大覚せん師の開基であるという、寺は明治年間再度の火災によりじゆう宝日記はことごとく烏有に帰したが翁襖の土佐とめいのある達磨像が残つているいう元浪花の人岩城に来り瓦を焼の示教を乞う次第である

判決三件

平簡裁で二十二日に次の三件の判決言渡しがあつた

【その一】赤井村大字上小川字上谷地一農業佐藤康秀（三）は昨年十月六日ころ平市六丁町地内で持主不明の中古自転車一台を盗んだほか三件の窃盗で懲役一年、執行猶予三年

近く一時斷水

送水管修理で

平市土末鍬では昨年八月の水害によつて陥没の危険にさらされた好間村上ノ原地内の送水管約百三十米を安全地帯に移転する切替え作業を続けていたが近く最後的な作業（管のつなぎ合せ）をするので市内は一時断水する様になると語つている

商工協組總會

植田地区商工協同組合では二十三日午前十時より旧郵便局跡（馬上兵宅）に於て定時総会を開催し二十五年度の事業経過報告及び二十六年度の事業計画其の他に就き協議した

所有米なし

強制執行は不可能

昨報＝大浦村の未供米憲貧者二名に対する初の強制執行は二十三日朝十時石城地方事務所、食糧事務所両所により大浦村大字六森農業丹野清康（四）同字鈴木久一（五四）方を調査のところ丹野方は供米割当二石九斗八升五合に対し一石三斗二升の供米残り一石六斗六升五合を未收、鈴木方は供米割当七斗六升に対して全未收のもので家宅捜査の結果、丹野方には米七合、麥五升、大豆四升、鈴木方には米五合、つぶし麥一升の在庫だけで強制執行出来ず後日農業調整委員で審議することになつた

騎馬隊に奴行列も合流

植田で藝妓手踊や剣道大會

賀祝園公立縣

なこそ、錦、植田三町共催の縣立公園指定祝賀式典は來る二十六、七の兩日なこそ町で盛大に催される、其行事は既報の通り実に盛難なものであるが、植田町では商工會が主催となつて数々の催しを繰り展げることになり、先ず駅前とさめ川橋たもとに緑のアーチを建設し各店とも装飾に腐心を払つている、更に二十六日なこそより行進する相馬騎馬隊に合流し郷士